

第15回 みやざわ苑運営推進会議 議事録

日 時 平成29年10月19日 (木曜日) 13:30~15:00
場 所 地域密着型複合施設みやざわ苑 2階 地域交流ホール

出席者 特別養護老人ホームご家族代表
小規模多機能型居宅介護ご家族代表
知見者代表 (地域密着型複合施設わしま)
地域住民代表 (栃尾宮沢区長)
長岡市介護保険課
法人代表 (いずみ苑園長)
特別養護老人ホーム管理者
グループホーム次長
小規模多機能型居宅介護管理者 / 計 9名

欠席者 長岡市栃尾支所市民生活課
地域住民代表 (栃尾宮沢区民生児童委員)
地域包括支援センターとちお
法人代表 (いずみ苑事務長) / 計 4名

1. 経過報告及び入居者・利用者の状況について

○ みやざわ苑行事等経過… スライド・資料に沿って説明する（P2～P5）

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

現在のみやざわ苑の状況は5ページをご覧ください。本日の特養の在籍者は籍29名、現在員29名です。午前中に看取りの方が亡くなりましたので、明日から28名です。以前は平均介護度が4を超えていましたが、新しい方で要介護度4、5の方がいなくなってきました。これは私どもだけではなく、地域や全国的に見ても、特養は本来、重度の方を受け入れると言われている中で逆転現象になってきている感じがいたします。現在平均介護度は3.7です。

小規模多機能型居宅介護管理者

10月の在籍者数18名です。8月の運営推進会議の後にグループホームへ1名入居されましたが、新規の方が1名登録されましたので在籍数に変わりありません。

グループホーム次長

8月の時点で小規模から入居されましたので在籍数18名です。今月までの間で1名の方が入院されましたがすぐに退院されましたので現在18名です。

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

この先の予定ですが、11月に水害・土砂災害を想定した避難訓練を計画しています。

1階の方が2階に逃げる訓練を行います。土砂災害・洪水を想定した避難確保を含む消防計画を改め、整いましたので、これから行政に提出します。

質 問・意 見

長岡市介護保険課

スライドの中でも行事が多くあり、皆さんが楽しまれているようすが見て取れました。

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

ありがとうございます。経過と状況については以上です。2番目の事故及びヒヤリハットに移りたいと思います。よろしく願いいたします。

2. 事故及びヒヤリハットの報告について

○ 平成29年度事故発生状況調べ… 資料に沿って説明する（P6～P15）

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

6ページからが事故の報告です。

今回、8月と9月の事故・ヒヤリハットの状況が加わっております。傾向として分かり易いのが14ページ、15ページです。14ページが特養の状況、15ページが小規模とグループホームの状況です。特養は転倒・転落が多くありました。グループホームは今まではあまりなかったのですが、転倒等が続きました。

特養は、14ページの上から2、4、5、6番目、下から2番目の方が転倒・転落の関係です。

2番目の方はベッドから起きる時に足が床に着くとセンサーにより、職員の持っているPHSに繋がり分かる仕組みで、職員が対応に行く前に横になっていたり、足が床に着いているということがありますので、起き始めの早い時間に感知できるよう離床センサーの位置を変える対応を取りました。

4番目の方は、普段も自分で何でもされている方でしたが、時々バランスを崩されたりする方です。常に一緒にいるわけにはいきませんが、なるべく見守るということで歩いている姿を見かけたら見守っていく対応です。また、室内の環境も、物につかまって歩かれることもありますので、物が動かないような対応を取るなど目配りをしています。

6番目の方は、かなり体調が悪く、その関係で落ち着かないようなところがありましたので、体調が悪いことを職員が認識して目配りなどの対応にあたります。

転倒以外で上から3番目になりますが、薬の間違いは去年の対応からはありませんでしたが、このたび薬間違いがありました。夜寝る前の薬と朝食後の薬が同じような位置にあったということで、間違えるような要因がありましたので、夜寝る前の薬と朝飲む薬は別の部屋に置く対応を取りました。あとは声出し、名前の確認を徹底することになってはいますが、なかなか声が出ていない人もいますので、名前を呼んでいきましょうということを再確認しました。特養については以上です。

小規模多機能型居宅介護管理者

小規模は8月に1件ありました。ご利用者の送迎時、軽自動車の後部座席にご利用者が乗り込もうとした際、ドアピラーに掴まり、手を掛けていたところ、先に助手席に乗り込んでいたご利用者がご自分でドアを閉め、ドアピラーに掴まっていたご利用者の左手指が挟まってしまいました。強くは閉まっていなかったため骨折等は無く、様子観察をしております。改善策は、危険防止のため1人ずつ乗車し、ドアを閉めてから次の方の乗車を行う。こまめな声掛け、安全対策を怠らないとしました。今回のご利用者は2人ともしっかりとされてい

る方でしたが、複数の送迎の際には運転する職員の他にこれから乗車する方を見守る職員を付けて対応しています。小規模は以上です。

グループホーム次長

1番目はヒヤリハットで、時間帯が19時のため職員がユニットに1人となり、他の居室に入りオムツ交換をしている時、フロアで過ごされていた（普段は）車いすの入居者の方が他の入居者に手を引かれて歩いていたものです。ヒヤリハットといたしました。改善策は、入居者がフロアにいる状況で職員がその場を離れない対応として、オムツ交換のタイミングを食後にずらして、フロアの見守り体制を整えることとしました。

2番目は、心臓の薬を入浴後に貼り替えていましたが、職員が1人で行っていたもので、その職員が忘れてしまいお茶の時間に確認したら貼っていなかったため、職員が2人で対応できる夕食後に変更し、貼り忘れが無いように改善策しました。

3番目も心臓の薬で入浴時の貼り替えとしていましたが、一対一の対応でその後もう1人の職員が確認することになっていましたが、その時間では確認ができないとのことで、2番目のケースと同様に夕食後に貼り替えることで統一しました。それ以降は、貼り忘れは無くなりました。

4番目は、居室ゴミ箱のごみを捨てようと車いすで持って来られたが、車いすのブレーキがかかっていない状態でごみを捨てようとして前のめりに転倒しました。普段から車いすのブレーキのかけ忘れのある方で、注意していた方です。改善策は、本人にブレーキを掛けることを伝え、目配りをする。居室のごみの回収は職員が行うことを統一しました。

5番目は、グループホームは畑を作っており、入居者1名が職員付き添いで畑に行きました。職員が入居者に収穫したミニトマトを食べてもらおうと渡しましたが、見守りをしない状態で他の作業に入ってしまう、少し詰ませたものです。その際に他の職員への報告をしなかったため事故として取り上げました。その後に改善策を検討しました。空欄となっていますが、日ごろ調理をしている中で硬いもの、大きいものは細かくするなど対応していました。トマトを収穫した際、硬いものは湯通しして細かくすることとしていましたが、この職員の認識不足で起こったものなので、再度徹底していくための周知をしました。個人 ID87が2つありますが、このトマトの件で報告忘れを1件、事故そのものとして1件のカウントでの2件です。

下から2番目の事故は、お部屋で過ごしていた間に転倒したということ、入居者の方が後から知らせていただきました。日頃からめまいがする方であり、立ち上がった時にふらつくことも考えられるため、改善策は歩行器をベッド脇に置く、転倒予防のセンサーをベッド上に設置することとしました。少しの反応でも職員が訪室することが多くなり、入居者の方が気にするためにテントウムシという衣服に直接つけるタイプに変更し、立ち上がる時に訪室して対応させていただいています。

一番下ですが、行事の時に障害者用のトイレを使用し、トイレから出る際にそのドアが自

動的に閉まったため、かけていた手が引っ張られて転倒したと考えられるものです。改善策として行事等で混雑している時は、職員間で声を掛け合って自立の方も含めて注意を払う。グループホーム内のトイレは自動で閉まらないため、日ごろから慣れていないところはあまり使わないよう声を掛けていきたいと思えます。グループホームは以上です。

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

今回は事故が多くありましたが、ご家族からしてみると心配がお有りかと思えますが、お気づきになったことを教えていただけますでしょうか。

質 問・意 見

特別養護老人ホームご家族代表

お年寄りですので、これだけ皆さんから気を付けてもらっていて、その中でまた起きてしまうということなので、その都度注意を再認識していただいて見守っていただきたいと思っています。家にいた時もそうですけど、年ですのでちょっとするとすぐ変わりますので、その時にも対応していただいたことに私としては感謝しております。

小規模多機能型居宅介護ご家族代表

説明されていると大変苦労されているのが良く分かります。気づいたのですが、転倒ということが多くですけど入居者も年を取ると衰えるものですから大変だと思います。24時間付きっきりというという訳にはいかないと思います。近くで見守っていくというのは大変だと思いますがよろしくお願いします。

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

今井さんいかがですか。ご家族ではなくて一般のお立場で、2ヶ月でこれだけ転んだとか薬の間違いとかあったわけですが。

地域住民代表（栃尾宮沢区長）

これだけきちんとしていられれば、もうこれ以上どうすることも無いのでは。一人に四六時中ついていられることもできないわけですし、それだけでなく職員は大変ですし。

特別養護老人ホームご家族代表

私どもも大変なことをしてもらっていると感謝の気持ちでいますので。

地域住民代表（栃尾宮沢区長）

怒りつけるわけにもいかないでしょうし。余程、忍耐力が無いと務まらないでしょう。

法人代表（いずみ苑園長）

そう言っていただき、ご理解いただいております。

グループホームの個人 ID87 番の方は 1 日の内で午前と午後にあったのでしょうか。

グループホーム次長

2 回あったわけではなく 1 件なのですが、最初の方は報連相ができてなく、職員からの報告がなかったため気づいたのが夕食前だったことで、その時点で 1 つ。実際に午前中のその場で報告があれば良かったのですが、報告が無かったことを問題と捉えて 1 つとしました。

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

わしさんは、同業者としていかがでしょうか。

知見者代表（地域密着型複合施設わしま）

事故というのは完全に防ごうという気持ちはありますが、どこで起きるか分からないですし、防ぎきれないところもあると思います。私たちもなるべく事故が起きてからの報告だけではなく、その人その人の状態が変わってきたとき、足取りが悪くなってきたとか最近食べ物がなかなか食べられなくなってきたとか、その状態が変わってきたときに家族に連絡していくようにして、転倒などのリスクが今後少し増えてくるかもしれませんという感じで状況の報告はなるべくしていこうと思っています。急に転んだなどと報告すると「今まで結構歩いていて大丈夫だったのに」ということにならないように経過の報告はしていくようにはしています。

法人代表（いずみ苑園長）

私ども法人で事故があった場合には、法人の会議でどのような事故があったかということをお名前を伏せて報告し、同じことの繰り返しが無いようお互いに情報を共有して務めているところですが、皆さんからお聞きしていただいたように大勢の方を四六時中、全て見ていくと見ても、事故は無くならないのです。以上です。

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

行政の立場からコメントをお願いします。

長岡市介護保険課

こちらのグループホームのように、必ずヒヤリハットや事故報告はあるんですけど、今回、特養の方では服薬のミスが 1 件だけでしたか、わりとほかの所では服薬のヒヤリハットの報告が多かったりするものですから、気をつけていただいていると思うのですが、薬については命に直接関わることなので、転んで骨折するよりは、薬を間違えて飲んで命を落とした

りするので重大だと思えます。どうしても1人の手で確認したがために間違えてしまったということがあると思われるので、複数の方で確認していただいて間違いが無いようにしていただきたいと思えます。

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

ありがとうございました。薬の対応は基本2人でやることになっていますが、深夜帯など、どうしても1人にならざるを得ない時間帯もあります。しかし、2人でできるときは2人を基本にしてやっていきたいと思えます。

つづいて次に進みます。小規模多機能型居宅介護事業所の評価についての説明と下の小規模多機能型居宅介護事業所を実際に見ていただきたいと思えますが、その前に4のその他に移りたいと思えますが、こちらから用意したものはありませんが、その他お気づきのこととかご意見がありましたらお願いします。

4. その他

グループホーム次長

グループホームは、9月27日に市と県の実施指導がありました。報告を求める指摘事項はありませんでしたが、報告を求めない指摘事項がいくつかありましたので対応していきます。

3. 小規模多機能型居宅介護事業所評価について

○ 外部評価 地域かかわりシート…資料に沿って説明する（P1～P3）

小規模多機能型居宅介護管理者

年間スケジュールで最初にお示しさせていただいたように、皆さまのお手元にある「地域かかわりシート」と小規模の職員の「事業所自己評価」をセットで事前にお送りします。「事業所自己評価」にチェックをいただき、12月の運営推進会議で皆さまからご意見をいただきたいと思えます。それではシートの説明をいたします。

「外部評価 地域かかわりシート」は、A～Fまでの6項目あります。これを皆さまからチェックしていただきます。

項目Aはまだ準備しておりません。後日お送りする「事業所の自己評価」の適当と思われる個所に「✓」のチェックを記入していただきます。わかりにくい場合もあるかと思えますので、当日にもご説明させていただきますので空欄のまま持参していただき、説明を聞きながらチェックをしていただいても結構です。

B～Fは、適当と思われる個所にチェックして持参していただきたいと思えます。

次回、12月の運営推進会議では、皆さまからチェックしていただいた箇所を人数確認と

して集計しながら、合わせてご意見をいただく予定です。チェックに基づいて当日お聞きしたい内容は、各項目の「できている点」「できていない点」「次回までの具体的な改善計画」の3点です。

わからないという項目もあるかと思いますが、同じ項目でも委員の皆さまそれぞれで捉え方も違うかと思いますが、思った個所にチェックをいただければと思います。集計して評価を確定するために、皆さまから貴重なご意見をいただければと思います。

項目ごとに説明します。

A：事業所自己評価の確認ですが、先ほど説明したとおり後日配布の事業所自己評価に基づいてチェックしていただく項目です。

B～Fまでありますが、No.0の所は、前回の改善計画について取り組んでいたか確認していただく項目です。各チェックの所に前回の改善計画の内容を記入してあります。

B：事業所のしつらえ・環境についてです。玄関が乱雑だという意見がありましたので「整頓チェック表を作成し、玄関の定期的な整頓確認と整理を行なう。また、1階の地域交流スペースに季節に応じた飾りつけを行い、雰囲気作りを図る」を前回、改善計画に含めました。現在、整頓チェック表を作成して毎月2回、第2と第4土曜日に職員が整頓チェックと片付けを行っています。1階の地域交流スペースは、春には桜、梅雨の時期はあじさいなど、季節に応じた飾りつけができました。今は、先ほどのスライドで紹介したもので、職員とご利用者が一緒に作成した富士山の作品を飾ってありますのでぜひご覧ください。1～4までの項目はこの後に見学を元に、思った個所にチェックしていただければと思います。

C：事業所と地域のかかわりについて、前回の改善計画では「定期的に施設での活動を回覧板などで地域に知ってもらい、気楽に来苑してもらえる「仕掛け作り」を行う。（広報誌と交流スペースの有効活用）」としました。回覧板用としてチラシを作成し、区長さんをお願いしています。1階の玄関の洗面所の所にも貼ってありますのでご覧いただければと思います。広報誌は、初年度に作成しましたが定期的にできなかったところがありました。今年度は定期的にできたかと思いますが、交流スペースの有効活用については、漠然として上手に進められず、有効的には行っていなかったと思います。こちらも1～4につきましては、皆さまの思った個所にチェックをお願いしたいと思います。

D：地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組みについて、前回の改善計画は「地域での活動を今後も継続しながら、更に関わりを深めていく。チラシ、広報誌で情報を発信し「地域の相談窓口」であることをアピールしていく」でした。今年度もみやざわ苑周辺のゴミ拾いをグループホームと合同で行いました。また、この後に栃尾文化祭へ作品出展を行うなど地域での活動を継続しております。先ほどのチラシには、地域の相談窓口ということで小規模だけではなく、「何か地域で困ったことがあれば、気楽にご相談ください」ということをみやざわ苑全体として受け付けています。という案内を広報誌に記載しています。実際の相談はまだありません。Dの1～4につきましても、先ほどスライド等の活動報告もありますし、感じたことをチェックしていただければと思います。

E：運営推進会議を活かした取り組みについて、前回の改善計画は「外出や地域行事の参加など参加人数や実施規模、また利用者や職員の感想などを入れた、今までのものより分かりやすく詳細な資料を準備する」としました。地域行事や外出の参加人数は、先ほどの行事等経過に記載しました。利用者・職員の感想、は外出やレクなどの計画書の中には記載されていますが、運営推進会議で使うような様式までは進めることができなかったところが反省です。こちらも1～4、運営推進会議に出席されていて思うようなところをチェックしていただきたいと思います。

F：事業所の防災・災害対策についてです。前回の改善計画は「災害ごとにおける避難基準や役割、動きなど大きく分かりやすいものを作成し、掲示する。災害時の事業所の役割を回覧チラシへの明記を実施する」としております。初年度の防災計画は事務室の横の掲示板に掲示していましたが、見づらい、分かりにくいといったところがありましたので、大きめのものに改めました。災害ごとに避難基準（どういう状況になったらどのような行動をすべきか、各職員の動き、役割）を明記したものを掲示しました。災害時の事業所の役割をチラシにとりましたが、地域の一員として災害発生時には、避難所としての解放、入浴場の提供、一時利用者の受け入れ、高齢世帯巡回訪問、健康チェック、不安解消のため地域への応援と被災者の受け入れを行います。ということを明記しております。こちらの1～4につきましても、わかりにくいかもしれませんがチェックをお願いいたします。この後に小規模をご覧いただく予定になっておりますのでよろしくをお願いいたします。

今までのところで分かりにくかったところがありましたらお願いします。

質 問・意 見

小規模多機能型居宅介護ご家族代表

7月12日に夜間の避難訓練を行っていますが、どのような状況を想定して行ったものですか。

↓

小規模多機能型居宅介護管理者

2階で火災が発生したということで、夜間の対応ということでしたので、基本的に夜勤職員が各ユニットに居りますので、夜勤職員が主となって火災ですので水平避難を想定して避難誘導を行いました。夜勤以外のその他の職員は、どのような動きで避難を行っているのかを確認見学し、地域の方や消防署の方にもその様子を見ていただきました。その後の反省会で実際に動いた職員が感じたことや、地域の皆さんや消防署の方から実際の動きを見ていただいた中で、うまくいかなかったところもありましたので、「このところはこうした方が良いのでは」「この動きが気になった」等ご意見をいただきました。

法人代表（いずみ苑園長）

防災のところの前回の改善計画で回覧チラシというのは、どちらを対象としていますか。

↓

小規模多機能型居宅介護管理者

防災協定を栃尾宮沢地区と結んでいますので栃尾宮沢地区です。

運営推進会議の後に区長さんに回覧をお願いしています。1階の洗面所のところにも同じものを掲示してあります。

今回のかかわりシートは説明用のものなので、次回の運営推進会議の前に「事業所自己評価」と「外部評価 地域かかわりシート」をセットにして、送付させていただきたいと思いますので、自宅でチェックしていただいて次回の運営推進会議の時に「地域かかわりシート」を持参していただきたいと思います。

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

最後に小規模多機能型居宅介護事業所を見ていただいて、そこで解散にさせていただきたいと思います。それではよろしく願いいたします。

○ 第16回運営推進会議開催日について

平成29年12月14日（木曜日）13：30～14：30終了の予定